

もり ひよし森林だより (105)

2015年
夏 号



● 公立南丹病院にお願いをしている「救急救護特別講習」（平成27年2月と6月に実施）

発行＝日吉町森林組合 〒629-0341 京都府南丹市日吉町殿田尾崎8-1
Tel＝0771-72-0017 Fax＝0771-72-1375
E-mail＝h-sinrin@fancy.ocn.ne.jp
<http://www.720017.or.jp/>
2015年 7月発行

林業労働災害の防止に向けて

7月1日から7日まで全国安全週間が実施されました。これは昭和3年に初めて実施されて以来、「人命尊重」という基本理念の下、産業界での自主的な労働災害防止活動を推進し、安全活動の定着を図ることを目的に、一度も中断されることなく続けられており、今年で88回目を迎えるそうです。

また、7月1日から9月30日までの3ヶ月間は第31回京都ゼロ災害3か月運動の期間となっており、労働災害防止の取り組みが強化されています。

これらの取り組みは毎年行われておりますが、残念ながら林業現場では依然として労働災害が多く発生しており、その発生件数は全産業の中でも飛びぬけております。平成26年においては、死傷災害件数は1,611件、その内死亡災害は42件となっており、死傷災害件数全体を見ると年々減少傾向にはありますが、死亡災害が平成24年以降増加しております。この数字を見るとやはり、林業現場で発生する事故は、即死亡災害へと繋がってしまう確率が高いということがうかがえます。

さらには、今年の7月7日現在の速報値では、平成27年の林業死傷災害件数は589件に上り、うち死亡災害は19件発生しています。そのうち3件は京都府内で発生しました。お亡くなりになられた方々には心よりご冥福をお祈り申し上げるとともに、同じ林業を営む者として労働災害の発生数を減らすのはもちろんのこと、死亡災害は絶対に防ぐんだという強い意志で仕事に従事しないといけないと思います。

しかし、残念なことに全国で発生した林業労働災害の内容を知る機会はほとんどありません。その内容を調べようとすると、林業・木材製造業労働災害防止協会がホームページに掲載している「死亡災害速報」や「災害事例研究」を見るか、林野庁が発行している「災害速報」を見るくらいしかありません。ただそれらは、全ての労働災害を網羅しているわけではなく、ほんの一部の災害情報でしかありません。

死傷災害を本気で減らそう、無くそうとするなら、現場で働く林業従事者に、過去の災害において被災者がどういった作業手順で作業をしていたのか。またその当時の周辺の状態（夕暮れ時で薄暗か

ったのか）がどうだったのかなどを考察させ、災害の背景やそれに至った過程を自らが考えることで、自分の作業を振り返り類似災害の発生防止や、危険作業の禁止を徹底させる必要があります。

これには、林業事業体の意識向上はもちろんのこと、京都府や林災防、森林組合連合会などの関係団体が情報を収集し合い、現場で働く側に速やかに情報を提供する仕組みを構築していくことが必要不可欠です。

関係団体には是非とも協力をお願いし、林業事業体と共に林業労働災害の減少に努めていきたいと思っています。

（小林）



森林整備事業における不手際

左の標題を読まれると「組合なんかしたんか」と受け取られるかもしれませんが、昨年組合が森林整備事業を実施した際、地元の皆様や施業地に隣接する所有者様に、多大なる迷惑をお掛けする結果となっていました。と言いますのも、施業時に農道を使用させていただく際、組合の不手際で地元の代表者様に連絡が出来ておらず了解を得ないまま農道を使用してしまい、関係者の皆様に多大なるご迷惑をお掛けしてしまいました。

また別の施業地におきましては、境界の確認を怠り無許可で施業対象外の方の立木を伐採し、作業道開設のために土地を削ってしまうという事態を引き起こしてしまいました。

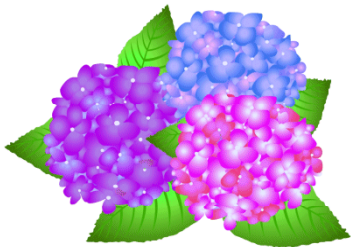
この2つの件は、仕事をする上で基本中の基本である事を怠ったことにより起きてしまいました。

このようなあつてはならない事が起きてしまった背景には、組合に慢心や傲り、甘えがあったのではないかと考えております。3月に役員改選があり、4月と6月に定例理事会を行いました。その席でも先に述べたようなことが「2度とな

いように」とご指導いただいております。先に述べた事以外にも、組合が気付かないだけでご迷惑をお掛けしたことがあるかも知れません。森林整備だけではなく、店舗や事務所での対応、電話の対応など万が一皆様にご迷惑や不快な思いをさせることがありましたら、遠慮なくご指摘いただきますようお願い申し上げます。

これまでに、組合の取り組みで皆様にご迷惑をお掛けした事実を無くすことは出来ませんが、今後は2度と無いよう、また、これまで以上に皆様に喜んでいただき「ありがとう」と言っていただけよう精進してまいりますので、ご指導をいただきますようお願い申し上げます。最後になりましたが、ご迷惑をお掛けした方々に心よりお詫び申し上げます。

(小林)



シリーズ職員紹介

今回皆様に紹介する職員は、チェーンソーマンとして働いている「藤原 仁」です。

- ・昭和58年4月18日生（32歳）
- ・入組Ⅱ平成18年4月、9年目
- ・専門分野Ⅱ伐倒、特殊伐採補助他
- ・その他Ⅱ来年で10年目になり、自身のさらなる技術研鑽はもちろん、後輩の指導にも努め組合のレベルアップに貢献していきます。



新人職員紹介

事務所や店舗をご利用いただいている方はご存じかと思いますが、今年は2名の新人「森林プランナー」候補と「森の道具屋」店員を採用しましたので、紹介させていただきます。

1人目は、「森林プランナー」を目指している「小原紘平」です。



「4月より日吉町森林組合で働かせていただいております。小原紘平です。奈良県吉野郡出身で23歳です。未

熟者ではありませんが、上司や先輩からご指導をいただきながら日々頑張っておりますので、よろしくお願いいたします。」

続いて2人目は、「森の道具屋」店員の「勝山 涼」です。



「4月より購買部門でお世話になっております。勝山 涼です。京都市の出身で22歳です。日々、お客様の接客を

通して日吉の方々の温かさを感じております。そんな温かみある日吉の皆様に少しでも貢献出来るよう、毎日元気な挨拶を心掛けて頑張っておりますので、よろしくお願いいたします。」



夏の機械整備会開催

昨年に引き続き、今年も「夏の機械整備会」を開催いたします。

【開催日時】

平成27年7月25日（土）

26日（日）

両日とも8時30分から17時まで

【目玉1】

チェーンソーや刈払い機などの点検、目立て、整備を無料で行います。夏の酷暑では機械もバテてしまいがちです。田畑の雑草繁茂期に、機械の調子が悪いと仕事になりませんよね。是非この機会にお持ちの機械のメンテナンスをさせていただきますでしょうか。

機械のメーカーは問いません。ホームセンターでご購入された機械でも無料で整備いたします。ご遠慮なくお持ち寄riください。

※注意点

整備をさせていただいた結果、交換等で部品が必要になった場合につきましては、部品代のみご負担いただきますのでご了承ください。

【目玉2】

電気柵（本体）の買い替えをお考えの皆様は、特別耳寄りな情報があります。今お持ちの電気柵（本体）を、ガラガー社製（B12・B40・B160など）の電気柵に買い替えたいと、ご使用の電気柵（本体）を下取りさせていただきまます。ご購入いただく電気柵の種類により1,000円から3,000円の下取りを実施。下取りさせていただく電気柵の種類やメーカーは問いません。シカやイノシシによる農作物の被害が後を絶たない現状では、欠かすことの出来ない存在となっている電気柵。これからも農作物を守っていくために、この機会を利用し電気柵の買い替えをお考えください。

また、現在田畑に張っておられる電気柵の点検も無料で実施いたします。こちらも電気柵のご購入先等に関わらず、どんな電気柵でも無料で点検いたしますので、この機会に是非森林組合にお申し付けください。こちらの無料点検は機械整備会期間中だけではなく、いつでもご連絡いただければ担当者が点検に参ります。

【目玉3】

「春のお客様大感謝祭」に引き続き、草刈シーズン真っ最中のこの時期に、皆様にスゴクお買い得な情報をお知らせいたします。

草刈用チップソーメーカーで有名なツムラのチップソーが、3枚以上ご購入いただくとなんと、「1枚当たり最大30%OFF」と大変お買い得となっております。

※石に強いF型ハイパー

3枚以上ご購入で・・・

1枚あたり

476円もお得！

※根強い人気のL型9・10インチ

3枚以上ご購入で・・・

1枚あたり

最大1,120円もお得！

※草刈も灌木伐採もOKのL52型

3枚以上ご購入で・・・

1枚あたり

866円もお得！

他にも各種ございます。ただ、全種類数に限りがあるため在庫がどんどん少なくなっています。必需品の草刈用チップソーご購入はお早めに。



観光協会とのタイアップ

ご存じの方も多いかと思いますが、前回の「お客様大感謝祭」から、日吉町観光協会にも御出店いただき、感謝祭と一緒に盛り上げていただいております。日吉の特産品や野菜の販売などを行っていただき、フラッと立ち寄っていただく町外や県外のお客様にも好評をいただいております。「夏の機械整備会」にも出店いただく予定ですので、一度お立ち寄りください。

キッズコーナーを開設

「刈払機やチェーンソーを見に行きたいけど、子供と一緒に رفتても子供が退屈するやろしなあ」とご心配されるお父さん、そのご心配には及びません。前回の感謝祭より、お子様が楽しく遊べるキッズコーナーを開設いたしました。

お絵かきや木製キーホルダー作り、トイチェーンソーが使えたりと、楽しいこと満載です。是非、お子様と一緒にご来店下さい。心よりお待ちしております。

（出野）

モンベル商品について

前号の「森林だより104号」で、モンベル商品の取扱いを開始しましたと、皆様にご報告いたしました。

ただ、「モンベル」という会社がどのような会社で、何故組合が扱うようになったかということや、「モンベル」の商品とはどういったものなのか、という説明をしておりませんでした。ですから、皆様に「モンベル」という会社と製品について知っていただくために、ごくごく簡単にはなりますが説明させていただきます。

(株)モンベルは、最年少21歳でアイガー北壁という難関をクリアした辰野勇氏が、1975年に登山用具やアウトドアグッズの開発を目指し、大阪で設立した会社です。

モンベルは“機能性は美しさ(Function is Beauty)”を商品コンセプトに、商品の軽さと速さ（登山の場合、商品が軽ければ登頂者が早く動け疲れが軽減する）が価値であるとして、商品の開発を続けておられます。

また、扱う商品は常に「本当に必要なら人に共感してもらえる品物を作る」こと

を念頭に考えられています。さらに、小売業界では当たり前と言われていた地域価格差「同業他社が多く激戦区である都会では安く売られ、田舎の小売店では全く違う値段で売られていること」に疑問を持ち、「本当に必要としてくれる人に届けたい」と誰もが同じ価格で購入できるように、商品価格を全国一律にしています。

モンベルのこういった考え方が、どこか組合の考えに通じるような気がしましたし、農林業の第1次産業を元気にしたいというモンベルの思いが商品となった「フィールドウエアシリーズ」が発売されたこともあり、商品の取扱いを決めました。

このフィールドウエアシリーズは、モンベルが北海道上川郡東川町に出向き、農作業を行う時の服装で本当に必要とされている機能は何なのかということ、地元との農業関係者に聞き取りを行い、その声をもとに商品を制作し、それを関係者に着てもらいまた意見をもらい、それを開発に反映させるということを繰り返して、開発された商品です。ですから、企業が机の上だけで考えて開発した商品ではなく、農業を営む人達が快適に動きや

すく、仕事がいよいよウェアとなっています。まさに「本当に必要な人に共感してもらえる品物」ということです。

フィールドウエアシリーズは、現段階では農業と家庭菜園向けに開発された商品がほとんどですが、第1次産業を元気にしたいという思いを持っておられますので、林業分野の商品も開発していただけるものと願っております。

※ほんの一部ですが商品を紹介します

【レインジャケット】



世界最高レベルの防水透湿性。生地は、一般的な合羽より3倍以上の耐摩耗性を誇る

【カバールール】



ストレッチ素材で動きやすく、また速乾性に優れています。ダブつきが少なく、農機具などへの巻き込み防止を低減します。

左記以外にも、機能性に優れた良い商品を揃えておりますので、是非ご来店下さい。
(出野)

山林異動届等の提出について

森林だよりではお馴染みの内容となっておりますが、左記の事柄について該当される方がおられましたら、組合までご連絡くださいますようお願い申し上げます。

- 名義人が高齢などの理由で家族内で名義を変更した
- 名義人が亡くなられたので相続をした
- 共有林の代表が変更になった
- 売買・贈与などで山の面積が増えたり、減ったりした
- 引っ越しをされ住所が変更になった

組合員の皆様との繋がりを、いつまでも大切にしていきたいと思っておりますので、変更がありましたらご連絡くださいますようお願い申し上げます。

(出野)



その他のお知らせ

出資証券はお手元に揃ってますか？

上記の「山林異動届等のお願い」により、関係される組合員様は「相続等により、組合員名義を変更したいんだけど」と事務所にお越しいただけます。

お越しいただいた際には必要書類に御記入いただくのですが、その時に組合職員とこんなやり取りがよくあります。

職員…「組合から発行させていただけます。〇〇様名義の出資証券がお手元にあるかと思うのですが。」

お客様…「出資証券？ああ、何かそんな見たことあるなあ。でも何処に置いてあったかなあ。探してみるわ。」

職員…「念のため現在発行済の証券枚数を確認しておきますね。〇〇様名義は〇枚発行してます。」

お客様…「見つけられても全部揃ってるかなあ。」

といった感じの会話です。この、出資証券がお手元に全部揃っているかどうか分からないという方は、もしかしたらこれをお読みの組合員様の中にもいらっしやられるのではないのでしょうか。今年も

3月の総代会において、5%の出資配当が議決されております。7月末日には配当額に応じて出資証券を発行する予定ですので、この機会によりしければ一度これまでのものもご確認いただき、もし一部を紛失されていたりする場合組合までご連絡ください。組合員様のご名義と発行枚数を確認の上、これまでの発行枚数を集約して「再発行」をさせていただきます。

また、全て揃っておられる方につきましても、これまでの枚数を一枚に集約させていただきますことも出来ます。お気軽にお申し付けください。

(出野)





(資料提供・北桑木材センター H27, 6, 26)

スギ	中目	4 m × 1 8 ~ 2 4 c m	8, 000 ~ 9, 000	・スギ
	"	4 m × 2 4 ~ 3 0 c m	9, 000 ~ 12, 000	全面的に値下が
	柱	3 m × 1 6 ~ 2 0 c m	7, 000 ~ 9, 000	り。太材は特に
	"	6 m × 1 6 ~ 2 0 c m	10, 000 ~ 13, 000	安い。
元木	良材	4 m × 2 4 c m 上	25, 000 ~ 40, 000	
ヒノキ	柱	3 m × 1 6 ~ 2 0 c m	11, 000 ~ 13, 000	・ヒノキ
	"	6 m × 1 6 ~ 2 0 c m	15, 000 ~ 18, 000	一部の目込材の
	中目	4 m × 1 8 ~ 2 4 c m	11, 000 ~ 14, 000	み少し高いが、
	土台	4 m × 1 4 ~ 1 6 c m	11, 000 ~ 12, 000	他は全面安。
元木	良材	4 m、6 m 共	40, 000 ~ 100, 000	



6月29日の晩に、我が家でこんなやり取りがありました。「あ、明日水無月を食べる日や」と家内が言うので、「えっ？何で？」と私が聞き返しますと、「えっ？さあ・・・。美味しいから！」と。聞いていると、昔から「水無月」は6月30日に食べると決まっているとか。そういえば、昨年もそんなことを言いながら食べていました。しかし、私の出身の大阪ではあまりそういう風習はありません。家内の友人で京都府以外の出身の人、そういう風習は京都に来るまで知らなかったとか。

皆様は「夏越祓（なごしのはらえ）」というものをご存じでしょうか。6月30日に行われる神事だそうです。この日、寺社では茅（ちがや）で作った大きな輪を鳥居の下や境内に用意します。参拝者はこの茅の輪をくぐり、この先の向こう半年間の無病息災を祈願するそうです。先日、私の娘も園部の生身天満宮様に茅の輪をくぐりに行っておりました。室町時代の御所では、この「夏越祓」の時に「氷室」から氷を取り寄せ、暑氣払いをしていたそうです。しかし、庶民

にとっての夏の氷は貴重品であったため、氷片をかたどった三角形の和菓子で作られるようになり、これが「水無月」の始まりと言われております。

日本人として生まれて35年、京都に暮らすようになって13年が経ちますが、まだまだ知らないことだらけです。水無月の云われを調べている時、7月1日に開催された労働安全衛生大会の基調講演で、「山ばな平八茶屋」代表取締役社長の園部晋吾氏が「日本人が海外に行くと、自分の国の事を知らなさすぎて外国人から『あなたは本当に日本人ですか？』と言われる」という話をされていたことをふと思い出しました。

世界の人気観光地に2年連続第1位に京都が選ばれ、外国人観光客が大勢こられる中、日本や住んでいる京都のことを全然知らないということが恥ずかしくなります。

今回の水無月のように、インターネットで検索すればすぐに分かる時代です。で、ちょっと疑問に思ったり知らないことはどんどん調べて、外国人に胸を張れる日本人にならなければいけないと思います。

(小林)